

血液内科

研修医

野澤良祐

▶出身地
▶出身大学

新潟県
東京医科大学

血液内科では、白血病のような血液病は自分たちで診断し、治療も自分たちで行います。このように悪性腫瘍の診断から治療までを完結できる唯一の内科であるところは**大きな魅力**です。また、患者との関わりあいも深く、精神面も含めて全人的な治療を行うことが必要であり、**医師としてのあるべき姿を学べます。**



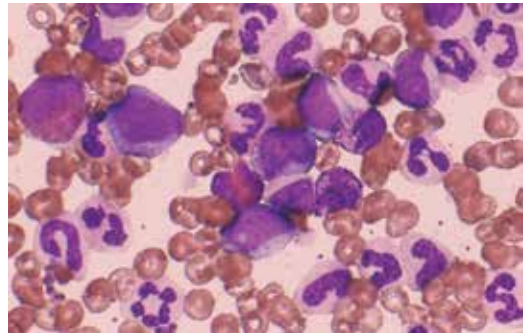
▶▶▶ 吐血で来院

出題

血液内科指導医
坪井康介

ある疾患の骨髓像である。この疾患について、誤っている記述を一つ選べ。

- 1 フィラデルフィア染色体が陽性である。
- 2 脾腫を認める。
- 3 40歳未満であれば、骨髓移植を行う。
- 4 NAPスコアは低下する。
- 5 白血病裂孔を認めない。



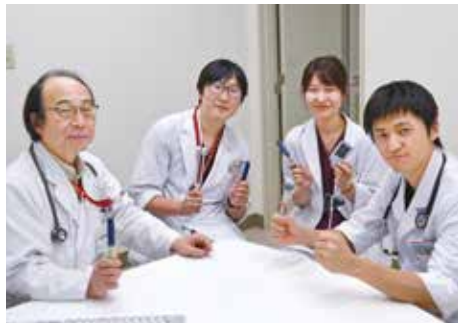
内分泌内科

研修医

須田義裕

▶出身地
▶出身大学

新潟県
山形大学



たかが糖尿病、されど糖尿病。
治療法は一辺通りではない。簡単に糖尿病の治療とはいっても、**オーダーメイド医療**という言葉がぴったりな、**人に寄り添った診療科**。DMの他にも色々みてます。



▶▶▶ 健診で高血圧を指摘され受診

出題

内分泌内科指導医
矢口雄大

症例) 38歳男性。一昨年までは健診を受けていたが特に異常は指摘されていなかった。去年は健診を受けず、今年の健診で血圧154/86と高血圧を指摘されたため受診した。

現症) 身長157cm 体重42kg 血圧158/84 脈拍76/分
家族歴) 高血圧なし

この症例についてまずやるべきことは?

1. 降圧剤を処方する。
2. 家庭血圧の測定を依頼する。
3. 塩分6gの栄養指導を行う。
4. 2次性高血圧の精査をする。
5. 来年の健診でフォロー。

